

令和6年 2月 1日発行

南部地区 公民館だより

【第136号】

上山市南部地区公民館
上山市河崎一丁目1-23
TEL 673-7255
FAX 666-8148
nanbu-1@honey.ocn.ne.jp



令和5年度 南部地区レクリエーション
～わきあいあい～

作品展開催!!



『南部地区レクリエーション～わきあいあい～作品展』は、南部地区相互の融和と地区民の親睦を深めるとともに、健康増進や生きがいに満ちた文化的生活の向上と、明るく豊かな地域づくりを推進する目的で開催いたします。

南部地区公民館の各講座での成果や、地区の皆様が日ごろから手がけた素晴らしい作品の数々を、ぜひご鑑賞ください。



- ＊ 日時 令和6年 2月 17日(土) 10:00～16:00
令和6年 2月 18日(日) 10:00～15:00
- ＊ 場所 南部地区公民館 1階 集会室

一期一会
風林火山
花鳥風月
春夏秋冬

※駐車スペースには限りがございます。ご来館の際、公民館駐車場が満車の場合は、保健センター駐車場をご利用ください。

交通事故防止や緊急車両確保の観点から、歩道や路上、正面玄関前への駐停車はご遠慮ください。

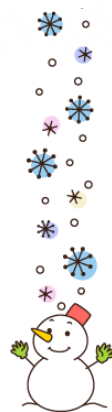
出前スポーツ教室参加の方へ

種目	太極舞
日時	3/8(金) /10時～11時
場所	1階 集会室
持ち物	屋内シューズ、飲み物

※キャンセル等ありましたら、
ご連絡くださるようお願いいたします。

～2月の予定～

- 9(金) とmogき第8回学習会【演芸鑑賞・マジックショー】
閉級式・第3回運営委員会
- 17(土) } 南部地区～わきあいあい～作品展
- 18(日) }
- 22(木) 蜜蝋のハンドクリームづくり



次回の公民館だよりは、3月1日(金)発行です。

◎節分の豆まき色々 ～2月3日は節分 恵方は東北東～



節分といえば、「鬼は外～福は内!」の掛け声とともに豆をまくのを連想しますが、地方や地域によって違いがあるのはご存じでしたか?ここで、異なる掛け声や豆の種類について紹介します。

まずは勇ましい掛け声『福は内福は内、鬼は外鬼は外、天打ち地打ち、四方打ち、鬼の目ん玉ぶつつぶせ!!』迫力があります。また、『あっちはあっち、こっちはこっち、鬼ヶ窪の年越した』『千秋万歳、福は内』と、ユニークな掛け声や、いたってシンプルな、『福は内』(のみ)。そして鬼も招き入れてしまう、『鬼は内、福は内』など様々。なかには、『鬼は内、福は外』と言葉が真逆のものも。「鬼を神社の中に迎え入れて、改心して福となったものを地域に出す」という意味が込められているのだそうです。どれも威勢のよい掛け声とともに豆をまいて福を願う気持ちは同じです。

豆まきには諸説ありますが、昔は、米・麦・粟・炭などが使われていることもありました。今日では大豆を使うことが多いですが、雪の降る東北や北海道などでは殻つきの落花生が使用されることがあるようです。部屋の奥から玄関のドアを開けて豆をまく、つまり雪上にまくことになるため、後で拾いやすいという理由からといわれています。ちなみに、当館職員の各家庭では、大豆派と落花生派に分かれていました!皆様のご家庭ではどのようにされていますか?

ガラスに詰めた小さな世界



夢中になって
手を動かします



白い砂が
雪みたい！



12月25日(月) 少年教室『のびっ子クラブ』
体験学習【苔テラリウムをつくろう】
講師：株式会社モスガーデン山形
居鶴千代美さん、嶋 智子さん

苔テラリウム作りを通して、植物を育てる楽しさを体験しようと、1年から5年生までの小学生が集まりました。

子供たちは作り方の説明をよく聞きながら、丸いガラスの容器に土台になる土を入れ、2種類の苔、石、好きなフィギアを配置していきました。子供たちは創造力を膨らませながら、ガラスの中の空間を草原や森に見立ててデザインし、白うさぎが住む冬景色や、まるでジュラ紀のような恐竜の世界など、思い思いに完成させていました。作品はどれも感心するものばかり！参加した児童は、「自分で考えて苔や石を飾ったところが良かった。」「自然観が出ているものが作れた。」と、出来あがり到大満足の様子。

この日はクリスマス当日。公民館からクリスマスプレゼントをもらって楽しい時間を過ごしました。

みんなと一緒にだからいいのよね

1班



笑いあり、涙あり

1月12日(金)・19日(金)
ともがき 第7回学習会【施設研修と映画鑑賞】

2班



ともがき学級生 55名が2班に分かれ、施設研修と映画鑑賞にでかけました。

はじめに訪れた文翔館では、ガイドの方より、建物の特徴や構造、各所に施された装飾のいわれ、山形県の歴史や暮らしの移り変わりなど、館内を移動しながら詳しく案内していただきました。どの説明も興味深く、研修時間が足りないほどでした。

次に訪れたムービーオン山形では、黒柳徹子さんの幼少期を自伝的に描いた作品、『窓際のトットちゃん』を鑑賞。時代背景と純粋な子供の姿に心を寄せ、涙する学級生もいました。

研修のしめくくりは、昨年末にオープンした「道の駅 やまがた蔵王」を見学。伝統工芸品や展示物、情報発信コーナーなど、新しい施設をゆっくり見て回り、学級生は充実した一日を過ごしました。

特別な一点もの…



1月17日(水) 一般講座【レザークラフト】
講師：宮城興業株式会社 高橋和義さん
佐藤温子さん



革を裁断！緊張の瞬間



ステキに
できました



使い込むほどに味わいが増す革製品。今回はスキルアップを目指し、サコッシュ作りに挑戦しました。

参加者は、様々な種類と素材から好みの材料を選び、けがき、裁断、穴あけ、と、スタートは順調に作業を進めていましたが、針2本を同時に使う縫製の工程になると、複雑な手縫いに悪戦苦闘。何度も講師に確認しながら仕上げ、苦戦している方には、先に完成した方が手伝い助け合う姿が見られ、出来あがりには互いに拍手をして喜び合っていました。じっくりと時間をかけ革と向き合った分、作り上げた感動は大きいものです。

終了予定時間が過ぎてしまいましたが、全員見事に完成し、大切に持ち帰りました。